



今、皆さんが手にした辞令は、単なる任命書ではありません。それは、愛媛の子どもたちや学校の「未来」を託されたという、信頼の証です。今日の決意と職を志した原点の思いを大切にしてください。

本県の教職員となった皆さんに、心に留めておいてほしいことをお伝えします。

子供の歩みに寄り添う伴走者であること

教育の役割は、単に知識を授けることだけではありません。子供たちが自ら人生を切り拓いていけるよう、歩みを支える「伴走者」であってください。子供たちは、時には立ち止まり、迷い、挫折を味わうこともあるでしょう。そうした時は、子供たちの心情に寄り添い、共に悩み、共に喜びを分かち合うことを大切にしてください。そして、子供たちにも「ありがとう」の気持ちをもって接してください。

変化の激しい時代を生き抜く学習者であること

社会の変化はめざましく、学校現場でも絶え間ないアップデートが求められています。子供たちの主体的な学びを大切にする私たちは、自らも学び続ける存在でなければなりません。それぞれの専門性を高めることはもちろん大切ですが、社会の動向にもアンテナを張って、知見を広げる取組を進めてください。

高い倫理観を持ち、信頼される社会人であること

私たちは公の奉仕者としての責任を伴っています。皆さんの言動一つ一つが、学校の、そして、学校教育全体の信頼を左右します。法令遵守はもとより、高い倫理観を常にもち続けてください。また、地域と共にある学校として、保護者や地域の方々と誠実に向き合い、良きパートナーとして信頼関係を築く努力を惜しまないでください。

「チーム学校」の一員として、対話と協調を大切にすること

教育は一人で完結するものではありません。様々な関係者と「チーム」で取り組むものです。経験の浅い皆さんが、最初から完璧にこなせるはずはありません。困難に直面したときや自分の力不足を感じたとき、一人で抱え込まずに、先輩教員や同僚、専門スタッフと積極的に対話し、知恵を借りてください。ロールモデルになるよい先輩を見つけ、真似をしてみるのも一つの方法です。

自らの心身をいたわり、豊かな感性を持ち続けること

最後に、何より大切にしてほしいのが、皆さん自身の健康です。心も身体も健康でなければ、子供たちの変化に気付くことはできません。忙しい中でも深呼吸をし、自分をいたわる時間を忘れないでください。趣味や旅行など、自分の時間も大切にしてください。豊かな感性を育んでください。

皆さんの情熱と、瑞々しい感性が学校現場に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。義務教育課をはじめ、県教育委員会は、皆さんが成長していく過程を、全力で支えていくことをお約束します。

